

学術大会における各賞

当日の発表演題から日野原賞、学術大会長賞、地域ケアネットワーク賞を選出し表彰いたします。

日野原賞

授与者：理事長

対象と目的：日本のプライマリ・ケア領域のパイオニアである、日野原重明先生の業績を顕彰するために設けられた賞です。これからのプライマリ・ケア領域の研究の発展を担う、次世代の若手研究者（40歳未満）を奨励することを目的として、最も質の高い臨床研究を実施し、発表した方を表彰します。

選考：研究支援委員会により、原則として一般演題より複数の候補を挙げ、その中から理事会で決定します。ただし、学術大会以外における発表で特に優れたものは、この候補の中に入れることを可能とします。

学術大会長賞

授与者：学術大会長

対象と目的：多忙で研究資源の乏しい臨床現場であっても、地道に研究を行うという、プライマリ・ケア研究の原点を忘れることのないよう、優れた研究を行った実地医家の業績を顕彰するために設けられた賞です。学術大会における一般演題の中から、大学などのアカデミックな組織に所属せず、臨床現場で行われた臨床研究の中で、もっとも優れたものを表彰します。

選考：学術大会実行委員会が組織した学術大会長賞選考委員会において検討し、学術大会長が決定します。

地域ケアネットワーク賞

授与者：地域包括ケア委員長

対象と目的：地域の保健、医療、福祉、介護を充実させ、地域住民が安心して暮らせる地域社会を築くためには、多職種多機関の連携・協働のためのネットワークづくりが重要です。また、地域住民や患者との連携も求められています。全国各地で、素晴らしいネットワークが構築されており、その活動には地域の状況、地域特性などが大きく関わっていると思われませんが、そのネットワーク構築のための手法については学ぶべき点が多いと考えます。学術大会におけるシンポジウムや演題のすべての発表の中から、地域ケアのネットワーク作りに関して特に優れた活動に対して本賞を授与します。大賞と特別賞があります。

選考：地域包括ケア委員会において協議し、決定します。